石心会グループ埼玉地区広報誌

ご自由にお持ちください

紺碧（こんぺき）

秋
AUTUMN
2026 vol.19

埼玉石心会病院 外科部長 包括的がん診療センター長｜相馬 大介

特集

「治療」と「暮らし」を支えるチーム医療

紺碧 2026年秋号　編集・発行：社会医療法人財団 石心会　TEL 044-381-3366（代）　〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町7-1 川崎日進町ビルディング3階　発行責任者：杉山孝博

優しくて頼りになる医療・福祉を目指します。

石心会グループ　埼玉地区

社会医療法人財団　石心会
埼玉石心会病院
〒350-1305　狭山市入間川2-37-20
TEL 04-2953-6611（代表）
https://saitama-sekishinkai.jp/

社会医療法人財団　石心会
さやま総合クリニック
〒350-1305　狭山市入間川4-15-25
TEL 04-2953-9995（外来予約センター）
〈月～金〉8:00～18:00　〈土〉8:00～17:00
〈日・祝日〉8:30～17:00
https://sekishinkai-sayama-cl.jp/
TEL 04-2900-2223（健診予約）
〈月～金〉8:30～18:00
〈土〉8:30～12:30　〈日・祝日〉休
https://www.sayama-doc.jp/

社会医療法人財団　石心会
さやま腎クリニック
〒350-1305　狭山市入間川4-15-20
TEL 04-2900-3333
〈月～土〉8:30～17:00
https://sekishinkai-sayama-jin.jp/

社会医療法人財団　石心会
いきいき訪問看護ステーション鵜ノ木
〒350-1305　狭山市入間川4-10-15　TEL 04-2955-2060
https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/ikiiki.php

社会医療法人財団　石心会
狭山市入間川・入間川東地域包括支援センター
〒350-1305　狭山市入間川4-10-15　TEL 04-2955-1114
https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/irumagawa.php

社会医療法人財団　石心会
石心会介護支援センター
〒350-1305　狭山市入間川4-10-15　TEL 04-2953-6777
https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/sekishinkai.php

社会医療法人財団　石心会
石心会ヘルパーステーション
〒350-1305　狭山市入間川4-10-15　TEL 04-2900-1302
https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/helperstation.php

医療法人社団　東京石心会
さやま地域ケアクリニック
〒350-1323　狭山市鵜ノ木1-33　TEL 04-2955-5000
https://sayama-care.jp/

社会福祉法人　石心福祉会
特別養護老人ホームオリーブ
〒350-1313　狭山市大字上赤坂290-1　TEL 04-2950-2400
https://sayama-olive.jp/

Cover Photo Story
埼玉石心会病院
外科部長
包括的がん診療センター長
相馬 大介 医師

秋

紺碧は、埼玉の広大な大地の上に広がる
濃紺の空をイメージしています。
地域の皆さんへ医療・福祉に関する情報を幅広く、
深くお伝えしていきたいと思います。

社会医療法人財団
石心会

©2026 石心会　本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為はご遠慮ください。

「治療」と「暮らし」を支えるチーム医療

埼玉石心会病院 包括的がん診療センター

近年、がん治療は「入院して受ける治療」から、「通院しながら生活を続ける治療」へと大きく変化しています。その実現のため、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、作業療法士、医療ソーシャルワーカーなどの多職種が連携し、“その人らしい生活”を支えるがん医療に取り組む埼玉石心会病院 包括的がん診療センターの皆さんにお話を伺いました。

01 医師

抗がん剤治療を行うだけの場所からの脱却

外科部長
包括的がん診療センター長
相馬（そうま） 大介（だいすけ）

それぞれの専門家がいる意義

近年のがん治療は「通院しながら生活を続ける治療」が中心になってきました。そこには大切な点が大きく4つあります。

- 外来化学療法の実施
- 生活との両立
- 高齢者への対応
- 地域連携

これらを患者さんへサポートするために、当院のみならず、全国的に我々のような多職種チームが編成されています。

埼玉西部地区は高齢者が多く、がんだけでなく、心臓や脳の疾患、フレイル（虚弱）、認知機能低下、独居などさまざまな要因を抱えた患者さんも多くいらっしゃいます。

多職種で複合的に治療の継続をサポートし、抗がん剤治療を受けるだけの場所から脱却し、医療・福祉をもって包括的に支援するために「包括的がん診療センター」と名付けました。

「複合的な治療」を行うために各専門職が当センターに集いましたのでメンバーを紹介します。

私は外科医師として、診断、治療（手術）を主に担っています。

資格

日本外科学会認定専門医・指導医
日本消化器外科学会認定専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会認定専門医
日本がん治療認定機構がん治療認定医
日本食道学会食道科認定医
da Vinci Console Surgeon Certificate 取得
マンモグラフィ読影認定医
臨床研修指導医
緩和ケア研修会修了
医学博士（東京大学）

がん看護専門看護師 02

不安に寄り添い“安心して続けられる治療”を支える

看護部
榎本（えのもと） 美紀（みき）

資格 がん看護専門看護師

看護師の主な役割は、患者さんの体の辛さのアセスメント（評価）と心の辛さに寄り添うことです。

当院には入院中の看護を担当する「病棟チーム」に加え、がんの痛み等のマネジメントに特化した「緩和ケアチーム」や「がん相談支援センター」があり、それらと連携をして、患者さんやそのご家族を支えています。

抗がん剤治療に対して不安に感じる方がおいでになり、それは当然のことだと思います。

だからこそ、患者さんが安心して治療に臨めるように寄り添い、適切な情報を提供することに努めています。

当センターは、多職種それぞれのアプローチ方法で「がんと暮らす人」を支えている点が大きな特徴です。

相馬医師からひとこと

看護師は患者さんと過ごす時間が最も長く、近い関係を築きます。榎本看護師は「がん看護専門看護師」であり、経験、知識ともに豊かなので安心してご相談ください。

03 外来がん治療認定薬剤師

適正な薬を使用し“続けられる治療”へ

薬剤部
橘髙（きったか） 智哉（ともや）

資格　外来がん治療認定薬剤師

私の主な業務は、レジメン（抗がん剤の治療計画）の登録・管理、そして、抗がん剤以外の薬剤を含めた薬物治療の適正化・処方管理や副作用に対するマネジメントです。

調製も行っていますが、抗がん剤は患者さん一人ひとり処方内容が異なり、高い正確性が求められるため、常に緊張感を持って調製しています。

抗がん剤の飲み薬で治療を行っている患者さんの中には、地域の薬局で薬を受け取る方もいらっしゃいますので、地域の薬局とも連携し、年に1回勉強会を行い、適切な薬物治療ができるように取り組んでいます。

相馬医師からひとこと

実は、医師よりも薬剤師の方が薬について何倍も知識がある場合があります。薬について疑問があれば橘髙薬剤師にもご相談ください。

がん病態栄養専門管理栄養士 04

“食べる”を支え生きる力につなげる

医療技術部副部長／栄養課　主任課長　秋山（あきやま） 好美（よしみ）

資格　管理栄養士免許／病態栄養認定管理栄養士／NST コーディネーター／埼玉県肝炎医療コーディネーター／がん病態栄養専門管理栄養士

抗がん剤治療を始めると、ほとんどの患者さんに食欲低下や味覚変化などが起こります。そのような「食べられない」悩みに対応し、患者さん一人ひとりに合わせた栄養支援や、外来での栄養指導を継続して行っています。

当院の大きな特徴として、「食事の調整」があります。給食が直営なので、午前中に患者さんから伺って調整した食事を、その日の昼食に提供することができます。

がん治療は長期戦です。患者さんの大切な楽しみのひとつである「食」からもサポートできればと思います。

相馬医師からひとこと

秋山管理栄養士は、がん患者さんの栄養管理、栄養療法に関する高度な知識と技術が必要な『がん病態栄養専門管理栄養士』※資格を取得しています。

※ がん病態栄養専門管理栄養士　認定者数：1,344人（2026年度4月現在）
出典：公益社団法人日本栄養士会

作業療法士 05

“また体を動かしたい”を支える

リハビリテーション課　副課長
安藤（あんどう） 淳一（じゅんいち）

資格　がんリハビリテーション研修修了

作業療法士は運動療法と運動指導で、手術前後のリハビリ、体力維持をサポートしています。リハビリを行うと入院期間の短縮につながるとされており、積極的に行っています。

一方で、体も気持ちも不安定になりがちな手術直後に、初対面のスタッフから「体を動かしましょう」と言われても、すぐに気持ちは湧かないと思います。しかし、リハビリ開始の早さは大切です。医師や看護師と相談しつつ、手術前から患者さんと顔を合わせ、運動指導や呼吸法の練習を行っています。

また、チームで論文や学術研究にも取り組み、患者さんのために技術を向上させています。

相馬医師からひとこと

英語の医学系雑誌に、安藤作業療法士が参加したリハビリテーション科の論文が掲載されました。論文掲載は、高度で質の高いリハビリテーションを患者さんに提供できている証の一つだと思います。

06 医療ソーシャルワーカー（MSW）／社会福祉士

“心配事の解決”のため福祉で支える

MSW 課　主任　島崎（しまざき） 彩香（さやか）

資格　社会福祉士／精神保健福祉士／がん相談支援センター相談員基礎研修 (1)～(3) 受講／両立支援コーディネーター／介護支援専門員／救急認定ソーシャルワーカー

がんと診断された患者さんには、お金や生活、仕事のことなど多くの心配事が起こります。私たちはそれに対し、患者さんご本人やご家族、関係機関の方と相談をしながら、問題解決に向けてお手伝いをしています。

治療後や看護についてのご相談は医師や看護師とも連携し、解決へと進めていきます。

当センターは、「尋ねることができる誰かがいる」多職種が協力し合っているチームです。

当センターメンバーのフットワークは軽く、患者さんの不安を少しでも早く和らげようと職務に当たっています。

相馬医師からひとこと

島崎医療ソーシャルワーカーは、がん相談窓口（がん相談支援センター）の窓口業務も担当しており、地域の患者さんの相談にも応じています。

夢を諦めず、地域で暮らし続けるために

相馬（医師）
私たちは治療や病気のことだけでなく、患者さんと初めて関わる時から、その後の「生活」について考え、柔軟に準備できることが強みです。
患者さんに寄り添って『通院しながら続ける治療』をより良くするために邁進しています。

榎本（看護師）
当院は大規模な病院ではありません。だからこそ、各職種が密に連携をとり、患者さんへスムーズに携わることができています。

橘髙（薬剤師）
患者さんのちょっとした変化にも気づきやすく、その情報共有や各専門科へもすぐにつなげることができます。

秋山（管理栄養士）
がんは重いものですし、軽々しく「大丈夫」とは決して言えません。しかし、そのような時こそ、私たち医療者を頼っていただき、がんになっても夢を諦めないでほしいです。

安藤（作業療法士）
私も、患者さんから『散歩をしたい』『畑で働きたい』といった日常に戻る際のご希望をお聞きしています。
私たちは、それが可能な限り叶うように取り組んでいます。

島崎（MSW）
行政や関係機関の皆さまと連携し、日常の暮らしを続けるサポートをさせていただいています。

榎本（看護師）
がんを患っても普通の生活を普通に続けられるように、私たちにご相談ください。

相馬（医師）
万が一、がんになっても、患者さんがこの地域で、ご自身の暮らしを続けられるように、そして、夢を諦めないように、当センターを始め、地域の医療・福祉機関の皆さんと一丸となり、患者さんを支える体制を地域で整えていきたいです。

ひとりで悩まず、話してみませんか？

がん患者サロンのご案内

当院では、がんサポート委員会主催の「がん患者サロン」を定期開催しています。医師や看護師ががんに関する話をしたり、がん患者さんやご家族がアットホームな雰囲気のなかで、病気についての情報交換や日頃の悩みや体験を語り合える交流の場です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

開催概要
- 日時　毎月 第 3 土曜日　午後 2 時～ 3 時
  ※ 2026 年 11 月は、第 2 土曜日に開催予定
- 場所　包括的がん診療センター内
- 費用　参加無料

お問い合わせ
包括的がん診療センター
TEL：04-2953-6611（代表）

ご不明な点やご質問がございましたら左記までご連絡ください。
「がん患者サロンについて」とお伝えいただくとスムーズです。
天候不良などで中止の場合は、病院ホームページ「お知らせ」に掲載します。

石心会 News

埼玉石心会病院「STOP！NO（脳）卒中」市民公開講座を開催

① 会場全景
② 近藤 竜史 医師
③ 安藤 俊平 医師
④ 向 祐樹 医師
⑤ 長谷川 真作 先生
⑥ 南村 鎌三 医師

2026 年 10 月 10 日（土）、埼玉石心会病院にて脳卒中をテーマにした市民公開講座が開催されました。当日は、100 名を上回る方が参加され、地域の皆さんの脳卒中に対する関心の高さが伺えました。

講座は［**STOP！ NO（脳）卒中 ～脳卒中を防ぐ・見つける・治す～**］と題し、脳の専門医によるリレー形式で進行しました。座長を務めた近藤竜史医師（副院長・低侵襲脳神経センター長）は、脳卒中の全般的な初期症状や早期発見の重要性について丁寧に解説。最後の南村鎌三医師（脳神経外科診療科長・部長）による閉会の挨拶まで、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

埼玉石心会病院では、今後も地域貢献の一環として、健康増進に役立つ情報発信と普及活動に積極的に取り組んでまいります。

登壇医師（※登壇順）

座長
近藤 竜史 医師　埼玉石心会病院 副院長/低侵襲脳神経センター長

講演
安藤 俊平 医師　脳血管内治療科 医長
向 祐樹 医師　脳神経外科 副部長
長谷川 真作 先生　さやま脳神経クリニック 院長

閉会の挨拶
南村 鎌三 医師　脳神経外科 診療科長/脳神経外科 部長

健診予約が LINE で簡単・便利に！

さやま総合クリニック健診センターでは、LINEでの健診予約が可能です。
是非、ご利用ください。

LINE健診予約
二次元コードをスキャンするとLINEの友だちに追加されます。二次元コードをスキャンするには、LINEアプリのコードリーダーをご利用ください。

予約方法説明動画
予約方法を詳しく知りたい方は、二次元コードをスキャンして説明動画をご確認ください。

お問い合わせ　さやま総合クリニック 健診センター　電話 04-2900-2223
受付時間　平日 8：30～18：00 ／ 土曜日 8：30～12：30（日・祝日：休み）

病院がつくった健康情報サイト
みんなの健康塾ちゃんねる
医療情報を“もっと”お手軽にGET！　みんなの健康塾ちゃんねる

公式SNS
WEB　LINE

埼玉石心会病院・さやま総合クリニックの求人情報はこちら